

令和元年度 第1回 浅口市総合教育会議議事録

1. 招集日時 令和元年6月18日(火)
2. 場 所 中央公民館 2階 視聴覚室
3. 開 会 午後3時00分
4. 閉 会 午後4時08分
5. 出席者 市長 栗山康彦 教育長 中野留美
教育委員 中務美保子 教育委員 藤澤弘幸
教育委員 佐藤賢次 教育委員 高戸 崇
6. 説明のために出席した者の氏名
教育次長 小山朋子 教育総務課長 難波勝敏
学校教育課長 村下徹 こども未来課長 笠原清美
文化振興課長 清水房恵 生涯学習課長 瀬良昌弘
教育総務課 岡本道雄(事務局)

7. 議事の概要

教育次長 令和元年第1回浅口市総合教育会議の開会を宣する。

次第2 市長挨拶について

市 長 第1回目の浅口市総合教育会議にご出席いただきありがとうございます。日頃から市の教育行政に大変ご尽力いただきありがとうございます。心から感謝申し上げます。この総合教育会議は、市長と教育委員会が十分な意思の疎通を図って、地域の教育の課題やあるべき姿を共有するという目的で設置しています。本日は、「幼児教育・保育の今後について」を協議題としております。本日も忌憚のないご意見をお聞かせください。

教育次長 次第3 協議題について

浅口市総合教育会議運営要綱第3条の規定により、市長に議事進行を求める。

市 長 浅口市総合教育会議運営要綱に基づき、議事進行を行う。

協議題1 幼児教育・保育の今後について

事務局に説明を求める。

こども未来課長 資料に基づき、幼児教育・保育の無償化や給食費の取り扱いなどについて概要説明を行う。

令和元年5月10日に子ども・子育て支援法の一部を改正する法律が成立。幼児教育・保育の無償化が決定した。主なものとしては、3歳から5歳の子ども及び0歳から2歳の住民税非課税世帯の子どもの幼稚園、保育所、こども園等の保育料が無償化される。また、幼稚園の預かり保育や認可外保育施設の利用も新たに上限

額の範囲内ではあるが無償化となる。ただし、保育の必要性がある場合に限る。

また、給食費については、原則保護者負担であることから、保育園の保育料に給食費の副食代が含まれていたため、無償化後は、保育料部分は無償、副食費部分は、別途、主食代と併せて給食費として保護者が負担することになる。ただし、保育料が無償となっていた場合は、引き続き副食費も無償となる。副食費の無償は、これらの保育料が無償だった方に加え、このたび対象者を広げ、年収 360 万円未満の世帯や第 3 子以降の子どもとされた。

無償化に伴う負担は、国が 1/2、県と市が 1/4 負担となるが、今年度については、国が全て負担する。

市長 少しわかりにくいのが、保育園の保育料のうち副食代はどれくらい支払っていたのか。

こども未来課長 国の説明では保育料の中に副食代やおやつ代が月 4,500 円含まれている。例えば 2 万円の保育料を払っていた場合、給食費の副食代部分が 4,500 円/月含まれていた。

市長 幼稚園はどうなっているのか。

こども未来課長 幼稚園については、保育料とは別に、給食費として全て実費を保護者が支払っている。

市長 10 月からはどうなるのか。

こども未来課長 これを年収 360 万円より低い方と国の基準による第 3 子については、どの施設を利用しても平等に副食費を無料にしようということ。

中務委員 保育料が無料の方は、今までどおり副食代は不要で、保育料を支払っている方は、保育料のうち 4,500 円は今までどおり負担ということになると、ほとんどの方が対象ということか。

こども未来課長 今まで保育料を支払っていた方は、副食代の 4,500 円はこれからも必要です。

藤澤委員 それでは保育園の保育料を払っていなかった方は、4,500 円も不要ということでしょうか。

こども未来課長 はい、不要です。

佐藤委員 副食費を支払う人は、保育園の場合、保育料を今まで支払っていた方。その方々には無償化になっても副食代は負担して頂くということですね。

市長 幼稚園はどうなるのか。

こども未来課長 幼稚園についても保育園と同じように副食費の免除が適用されるので、新たに幼稚園の中でも副食代を支払わなくてよい方がでてくる。

市長 浅口市は、すでに第 3 子以降の無償化をしていた。

こども未来課長 第3子については、国の基準より拡充して実施している。浅口市では3番目の子どもは全て対象としている。引き続き、第3子については、国より拡充して行う。

市長 浅口市として、無償化に伴う対応はどうしていくのか。

こども未来課長 3歳から無償化となると、3歳から幼稚園や保育園に行かせたいという方が増えると思います。受け皿や方策について、皆様のご意見を伺いたい。

市長 増えると待機児童が発生することになるのではないかと。

こども未来課長 現状は、保留児童はいるが待機児童はいない。1～2歳の需要は高いが先生の配置が必要になる。6人に1人の先生を配置する必要があり、先生の確保も必要になる。施設的には、もう少し余裕がある。

市長 増える可能性はあるのか。

こども未来課長 はい。3歳から入れたいという方は増えると思います。

市長 待機児童が出そうなのか。

こども未来課長 無償化に伴う影響はあると思う。現在の施設の利用状況は、1号の3歳児から5歳児の幼稚園の利用者が減っている。この部分の受け皿はある。定員より少ない状況となっている。1～2歳児は定員とほぼ同じ。過去5年間の推移をみると、5歳以下人口は年々減っているが、利用者は減っていない。つまり、利用者の割合は増えている状況。無償化に伴い考えていることは、幼稚園の魅力ある園づくり、幼稚園の活性化を図っていきたい。幼稚園に入って頂ける方策を検討している。10月から3歳児から5歳児の無償化が始まるので、来年度から需要の高い金光幼稚園で3歳保育を開始していきたいと思っています。次に、通園学区の問題です。幼稚園へ入る子が少なくなってきたので通園区の廃止も考えていきたい。

市長 すごく肝心なことなので、1つずついこう。通園区域の廃止について皆様のご意見をお願いしたい。

藤澤委員 車利用も多いので可能ではないか。他市町の利用も可能であれば考えてもよいのではないかと。

中務委員 こども園は学区がなく、幼稚園は学区がある。勤め関係で、鴨方に住んでいて金光幼稚園に預けたくても預けられない。いいことばかりでないで安易に言えないが、学区の廃止について、落としどころを探していく必要がある。こども園の需要は高い。幼稚園の教育に魅力があって入りたいという方もいるようなので、学区の廃止もよいのではないかと。

市長 他にありませんか。ないようでしたら次に行きましょう。

こども未来課長 もう一点は、金光幼稚園での3年保育についてです。

- 中務委員 アンケートをとられたとの事ですが、需要はありますか。
- こども未来課長 アンケートでは、3年保育の希望が半数近くあり、満3歳からというものも含めると需要は高いという結果が出ている。
- 藤澤委員 3年保育について、幼稚園は昼までとか14時半までだと思うが、そういう保育の需要が高いということか。
- こども未来課長 幼稚園利用の方のアンケート結果です。保育利用については、もっと低年齢からの希望が多い。就労希望のアンケート結果では、子どもが3歳くらいになってから働きたいという方が多かったです。
- 高戸委員 金光幼稚園から始めるのですか。それには何か根拠はあるのですか。
- こども未来課長 金光地区の幼稚園は2年保育。私立こども園は、満3年保育している。鴨方と寄島地区には、公立こども園で3年保育している。金光地区の3年保育の受け皿が少ない部分があるのでその拡充をしていきたい。
- 高戸委員 アンケート結果では3年保育を希望する方が多く、金光地区に限ったことではないと思うが。
- こども未来課長 未就園児が比較的多いのが金光地区です。まずは金光幼稚園で3年保育を始めてはと考えている。
- 高戸委員 一緒に鴨方地区も3年保育を始めることはできないか。鴨方には公立こども園があるからということだが、平等にしていくことで受け皿という事になるのではないか。広域で考えた方がいいのではないか。
- 小山教育次長 鴨方地区にも需要はあると思うが、複数園を同時にするのは難しい。まずは、公立での受け皿がない金光幼稚園をと考えている。案はあるが、長期的に見ていくことも必要と考えている。
- 市長 施設整備についてはどうなっているのか説明を。
- こども未来課長 金光幼稚園と鴨方東幼稚園のトイレ洋式化を今年度実施予定。大規模改修は必要ないが手洗等の改修も必要になってくる。
- 小山教育次長 水回りは改修費用も高くなる。また、職員の任用にも大きな課題があるので、まずは一園から実施したい。
- 高戸委員 お金がかかるのはわかるが、園児数の少ない鴨方西幼稚園の存続も考えると希望が持てる何かが必要ではないか。例えば、来年は金光幼稚園、再来年は鴨方西幼稚園という話でもあれば希望が持てる。考える選択肢も増えるのではないか。
- 佐藤委員 鴨方西幼稚園の場合、なくなるのではないかという噂も出ている。希望が持てるようにしていく必要があるのではないか。
- 市長 住民の皆さんの不安を払拭することは必要と考えます。人口減少、子どもの減少、予算面も厳しい。金光幼稚園のトイレ改修は当初7,000万円の試算が出た。検討を重ねた結果4,000万円近いお金

がかかる。そういう事も考えていかなければならない立場でもあります。地域の思いや子どもたちのこと、しっかり考えていきながら対処していきたい。

藤澤委員 子どもが増えている施設を見に行ったり、特色を出している園を参考にするなど、新たなこと、園児が増える取組みはないか。ここで子育てしたいと思えるいいものを作っていくことが必要。園児4人では、十分な教育ができていいのか心配になる。いいこともあるが限られている。鴨方東幼稚園との交流や何か特色をもっていく方法はないか。

市長 人口増、定住促進については、私の市長部局の仕事になる。働く場所の確保が必要であり、定住促進の特効薬は企業誘致ともいわれている。市内には、これから操業を開始する企業もあり他市からも羨ましがられている。新たな工業団地構想も動いている。これは市長部局の仕事になる。教育分野での特色については、教育長からお願いします。

中野教育長 特色という部分では、英語教育や体づくり体幹向上などに取り組んでおり、もっと情報発信していきたい。鴨方西幼稚園の保護者に話を聞いた。すごく喜ばれており、少ない人数が園児にはあってよかったという話も聞いた。少人数保育を希望する方もいるのかもしれないと思った。学区を外すことでそういう方が来るかもしれない。いろいろな方の意見を聞きながら、しっかりと取り組んでいきたい。

市長 他にありますか。

こども未来課長 5月25日に幼児教育保育のこれからのを考えるワークショップを開催した。今、子ども子育て支援事業計画の策定の中で、幼児教育の質の向上という部分があり、盛り込むべき指針として出ている。これに伴い、公立私立の園の先生が集まり今の現状や今後の課題などのワークショップを開催した。いろいろな意見がでたので、この意見を5年間の計画の中に取り入れていきたい。

市長 無償化の話に戻るが、保育料を無償化することで市の負担が1,500万円程助かる試算がでている。

こども未来課長 第3子以降の副食費の無償については、子どもの数え方が国の数え方と市の数え方で違うため、第3子以降の保育料の無償化の時と同様に国の基準を拡充し、市の基準で今後も免除する予定。国は副食費4,500円/月までしかみてくれない。

市長 給食費は、公立と私立で差が生じる可能性もある。4,500円を超える部分については、全て市で負担することを考えている。ただし、給食費の上限を決める必要はあると思っている。1,500万円の半分くらいは、還元したいと考えているが、皆さんの意見を伺いたい。

佐藤委員 私立が給食費を値上げして特色出してくるかもしれない。やはり上限は必要ではないか。

市長 他にご意見はありませんか。

佐藤委員 趣旨はいいと思う。公立と私立の差についてはどうなるのか。

こども未来課長 明日、国の説明会を受けて、無償化について私立園と話をすることになっている。無償化の話の中で、副食代の部分も話をしようと思っている。

各委員 上限は必要。

市長 方向性としてはよろしいか。

各委員 はい。

市長 ありがとうございます。子どもは次の時代を担う宝物です。しっかりとサポートしていきたい。他に何かありますか。

佐藤委員 公立と私立の所管は違うのか。園から小学校にうまく繋がらないといけない。

中野教育長 私立も含めて取り組んでおり、接続カリキュラムも作っている。関わりはあります。

佐藤委員 安心しました。

市長 天草体育館の事について説明をお願いします。

こども未来課長 暑さ対策の関係で、夏の子どもたちの居場所の確保として、天草体育館のミーティングルームとアリーナの一部の無料開放を考えている。ミーティングルームは飲食が可能で、エアコンが利用できる。保護者同伴で小学校3年生までを考えている。

市長 去年は猛暑対策で、外出禁止、プール禁止となった。その対策を行うものです。いつから始まるのか説明を。

小山教育次長 7月から8月に実施します。管理人もいる。

市長 園庭の日よけ対策はできそうか。

こども未来課長 必要なところは進めている。

市長 実は、園庭に日よけを設置できないか検討している。風で飛ぶこともあるので対策が必要。安心安全にやっていきたい。

市長 その他について、何かありますか。

構成員 特になし。

市長 その他について、事務局から何かありますか。

教育次長 特になし。

市長 令和元年度第1回浅口市総合教育会議の閉会を宣する。